

本校校長として2年目を迎えました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年は小学部に11人、中学部に12人、高等部に17人の新入生を迎え、学校全体では小学部58人、中学部38人、高等部68人、合計164人の児童生徒数となりました。

新年度が始まって、新しい教室に移ったり、学級の友達や先生の顔ぶれが代わったりした子どもたちは、少し緊張しながら毎日を過ごしている様子です。不慣れな環境というものは、大人にとっても少なからず抵抗があるものですが、新しい環境の中で、周りを観察して気づいたり、勇気を出して動き出して周りの反応を見てみたり、それを繰り返しながら自分を調整したりすることで、新たな環境に自分を合わせていく方法を学んでいきます。そしてその過程一つ一つが、確かな成長の証として積み重なっていき、後にやってくる大きな変化にたくましく対応できる力へと繋がっていきます。

どの学部でもそうなのですが、年度が改まったこの時期に、2年生の教室にお邪魔して児童生徒の様子を見てみると、この1年間でずいぶん様子が変わったものだかと本当に感心してしまいます。先日は小学部2年生の朝の会の様子を見せてもらっていましたが、自分で椅子を並べて姿勢よく座り、周りの友達を意識しながら声を合わせて生き生きと取り組む子どもたちの姿を見ながら、1年前の入学式の様子を思い出して、1年間の成長って本当に大きいものだとしみじみと思いました。今年の1年生たちの、1年後の姿が今からとても楽しみです。

さて、新型コロナウイルス感染症については、まだまだ油断できない状況が続いています。本校の全職員は県からの指導により、週1回自ら検査キットによる抗原検査を行い、陰性を確認してから勤務に当たっています。これからPTA総会や運動会の時期となりますが、本校では子どもたちの安全・安心を最優先し、昨年度に引き続き大きな集団となるような活動や行事を実施しませんので、御理解くださるようお願いいたします。昨年もこの校長室便りに書きましたが、「当たり前下次のもっといいこと」をヒントに、今だからこそできることを見つけながら、前向きに様々なチャレンジに取り組んでいきたいと思えます。

今年度も引き続き、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

令和4年4月

熊本県立荒尾支援学校長 松本 英雄